

3-6

入浴希望者の回数無制限受け入れの取り組み

通所介護における入浴ニーズの大きさ

通所介護

入浴

しゃかいふくしほうじん せいふうかい こうれいしゃざいたく
社会福祉法人 聖風会 高齢者在宅サービスセンターはなはた

相談員 ・ 斉藤 未来

共同研究者 ・ 豊島 輝男

東京都足立区花畑4-39-10

TEL 03(3885)4864

E-mail sinseien@seifuukai.or.jp

FAX 03(3880)0950

URL http://www.seifuukai.or.jp

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

併設：特別養護老人ホーム、地域包括支援センター、ケアマネージメントセンター
一般デイ：1日定員50名
認知症デイ：1日定員10名

＜取り組んだ課題＞

介護保険制度下での経営において重要となる高利用率獲得・維持の為にを行った『利用者・家族・支援事業者へのニーズ調査』の結果、入浴に対する要望（回数制限の撤廃）が最も多く、ニーズに応えるための取り組みを行った。

＜具体的な取り組み＞

①ニーズ調査

- I. 利用者アンケートを実施
- II. 家族会を実施し要望聴取
- III. 地域介護支援専門員から情報収集

⇒結果、圧倒的な数で入浴の回数制限をなくしてほしいとのニーズが明白になる

②実施準備

- I. 入浴者増加人数の推定
1日約10名程度の増加が見込まれた
- II. 一日の活動プログラム立て直し
午前中に入浴希望者は入浴
入浴しない利用者はリハビリ室にて機能訓練
- III. 職員配置の変更、マニュアルの見直し
入浴担当職員の増員
- IV. 環境整備（待合スペースの確保・脱衣所でのプライバシー保護対策など）

＜取り組みの成果と評価＞

①1日平均入浴者数

取り組み前：約21名 ⇒ 約34名

②年間平均利用率

取り組み前：86.5% ⇒ 89.8%

③入浴業務を午前中のみとしたことで、午後の職員配置に余裕ができ、同様にニーズの一つとして挙げられていた『選択式趣味活動』導入が実現

④新規利用申込件数の増加

⑤既存利用者の利用日追加申込件数増加

⑥利用者欠席率低下（以前は“今日はお風呂じゃないから行きたくない”とお休みされる人がいた）

⑦正味2時間弱で30名以上の利用者の入浴を介助する職員の精神的・肉体的疲労が蓄積

⑧活動室が分散していることによる誘導の不都合
⑨ただ身体清潔保持のためだけの入浴しか実施できず、以前の“のんびり温泉感覚で…”とのレク的な目的の入浴とはほど遠い

⑩職員の努力により事故は発生していないが、時間や人数を勘案すると、安全面に不安が残る

＜今後の課題＞

- * 時間・人数的に余裕のある、安全な入浴の提供
- * 入浴中のコミュニケーション・自立支援重視
- * 職員の精神的・肉体的負担の軽減